

### Ⅲ 健康増進課

#### 1 健康づくり推進事業

##### (1) 「健康津軽21（第2次）」の推進

管内の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくりを進めていく計画として平成13年度に「健康津軽21」を策定した。その後中間報告と見直しを経て、平成24年度に最終評価し、それを踏まえて平成25年度を初年度とする「健康津軽21（第2次）」を策定した。策定内容は、健康津軽21に引続き「肥満予防対策」、「喫煙防止対策」、「自殺予防対策」を重点課題として、以下3領域、12分野について取り組み、「管内市町村健康増進計画（第2次）」と連動させながら推進を図ってきた。

###### ① 「生活習慣の改善」の領域

栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、歯の健康の5分野

###### ② 「生活習慣病の発生予防と重症化予防」の領域

がん、循環器疾患、糖尿病、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の4分野

###### ③ 「こころの健康」の領域

こころの健康、認知症、休養（睡眠）の3分野

平成29年度に中間評価を行い、その結果、改善がみられた指標の割合は全体の55.7%となっており、分野別では、改善の割合が高いのは「飲酒」「歯の健康」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」「喫煙」「認知症」「循環器疾患」「糖尿病」であったが、悪化の割合が高い分野は「休養（睡眠）」「身体活動・運動」「がん」であった。

中間評価を踏まえ、上記の重点課題3領域に加え、新たに「がん対策」を重点の取組に加え、引き続き推進を図っている。

##### (2) 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、働き盛りの人たちの健康課題の解決が喫緊となっていることから、市町村や保健所等で実施している保健サービスと、職域で実施している保健事業について相互の連携を密にし、健康津軽21（第2次）計画における重点的な取組である生活習慣病の予防やメンタルヘルス対策について、効果的な保健事業を推進するものである。

###### ア 津軽地域 地域・職域保健連携推進協議会

津軽地域保健医療推進協議会保健対策部会において開催した。

○開催日時：令和元年11月13日（水）15：00～16：30

○開催場所：ラグリー

○出席者：24人（委員9人、オブザーバー5人（市町村）、事務局10人）

○内容：① 報告事項「健康津軽21（第2次）の推進について」

② 協議事項「健康増進法の一部を改正する法律」の施行に係る受動喫煙防止対策について

③協議事項「自殺予防対策について」

イ 市町村・事業所における健康づくり研修会、支援

開催年月日	参加者	内 容 等	講師
平成 31 年 4 月 25 日 (木)	労働災害防止団体 等の代表者 14 人	がん予防とがんの早期発見のために (労働災害防止団体等連絡会議)	保健所保健師
令和元年 6 月 21 日 (金)	衛生管理者 19 人	がん検診の受診について (弘前地区衛生管理者委員会研修会)	保健所保健師
令和元年 7 月 4 日 (木)	事業所 103 人	がん検診の受診について (弘前地区産業安全衛生大会)	保健所保健師
令和元年 7 月 7 日 (日)	地域住民・介護施設 職員 30 人	健康寿命をアップするために～がん予防 とがんの早期発見を目指して～ (三笠ケアセンターサロン)	保健所保健師

(3) 喫煙対策事業

「健康津軽 2 1 (第 2 次)」の今後の目指すべき姿と取り組みをもとに、喫煙による健康障害に対する知識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進を図る。

ア 研修会・機会教育等実施状況

開催回数	年 月 日	開催場所	内 容	講 師	対象参加者
1	令和元年 11 月 3 日 (日)	平川市文化 センター	第 27 回県民公開講座 無料体験コーナーにて、肺年齢 測定を実施。	弘前保健所 中村 拓志 瀬川 香代子 澤田 悠 村井 収平	公開講座 参加者 45 人
2	令和 2 年 1 月 18 日 (土)	大鰐町 鰐 come	健康フェスタ開催時に、大鰐町 の保健事業である出張健康鑑定 団において、肺年齢測定を実施。 必要時、禁煙指導を行った。	弘前保健所 技師 (保健師) 富岡 諒 山谷 美桜子	大鰐町民 64 人

イ 空気クリーン施設・車の認証拡大

(ア) 空気クリーン施設の認証状況の把握・情報提供

・管内市町村における空気クリーン施設・車の認証状況を把握し、各市町村へ情報提供を行った。

(イ) 喫煙の健康被害に関する知識の普及・啓発、空気クリーン施設の PR

・食品衛生協会の協力のもと食品衛生講習会の際に、空気クリーン施設認証制度のリーフレットを飲食店へ約 390 部配布。

・弘前市職員と 13 件の「ひろさき健やか企業」へ同行訪問し、認証拡大に向けた空気クリーン施設認証制度説明を実施。うち 2 件が新規認証につながった。また、青森のおいしい健康応援店への働きかけにて、飲食店 6 件の新規認証につながった。

・各市町村へ市町村保健師活動打合せにて情報提供。

空気クリーン施設の現地調査の際、空気クリーン車の PR を実施。

新規認証数：49 件 (空気クリーン施設：44 施設 空気クリーン車：5 台) 累計 1,050 件

#### ウ 調査の集計・分析等

##### <市町村の喫煙対策自己点検調査>

・3年間実施した調査結果を分析し、法改正内容に合わせた調査項目の見直しを実施。結果と修正項目については、2月に市町村に対して公表し、来年度に向けた調査の再開について了解を得た。

##### <妊婦喫煙状況の調査>

・妊婦連絡票から、妊産婦の喫煙状況を収集・分析し、保健活動打ち合わせ時に市町村に対して妊婦喫煙率を情報提供した。

### (4) 中南地域がん検診受診率向上推進事業

中南地域はがんによる死亡率、特に、壮年期の死亡率が高く、また、二次医療圏の標準化死亡比の全国比較で見ると、男性がワースト1、女性がワースト5であることから、がんの早期発見・早期治療のため、住民と職域関係者のがん検診受診率向上を図る。

#### ア がん検診受診率向上施策研修会

がん検診受診率向上のための効果的な受診勧奨・再勧奨方法について理解を深め、取組を共有することにより、管内市町村のがん検診受診率向上の取組みの一助とすることを目的に開催した。

○開催日時：令和元年10月18日（金）13：30～16：00

○開催場所：青森県産業技術センター 弘前工業研究所 1F 研修室

○内 容：①講話「効果的な受診勧奨について」

講師：株式会社キャンサーズキャン 取締役副社長 米倉章夫氏

②取組報告「受診勧奨通知の工夫と効果等について」

報告者：黒石市 健康推進課 保健師 貴田 伝氏

平川市 子育て健康課 健康推進係長 葛西 勝氏

西目屋村 住民課 主任保健師 成田 彰宏氏

③情報交換「検(健)診受診率向上のための取組について」

#### イ 事業所職員のがん検診受診勧奨

事業所職員のがん検診受診の動機づけを行うため、リーフレットを作成し、関係団体と連携して周知を図った。

##### (ア) 弘前商工会議所との連携

・健康診断再勧奨用リーフレット及びがん検診受診勧奨用リーフレット2, 600部を会報に折り込み配布

##### (イ) 弘前地区労働基準協会との連携

・健康診断案内に、がん検診受診勧奨用リーフレット650部を同封し配布

### (5) 特定健診・レセプトデータに関わる集計・分析（旧「市町村等「健活」推進のための地域診断事業」）

がん・生活習慣病対策課が配布する地域診断ツールを活用し、平成30年度分レセプトデータを取りまとめ、がん・生活習慣病対策課に提出。また、平成29年度特定健診データ（国保分）の結果を取りまとめ、保健活動打ち合わせ時に市町村に対して情報提供を行った。

(6) 市町村健康づくり活動への支援

ア 市町村健康づくり推進協議会等への参加

市町村	協議会名	委員	委嘱期間	開催年月日	出席者	備考
弘前市	弘前市健康づくり審議会	所長	H30.7.25 ～R2.7.24	R1.7.11	工藤主幹	① 健康ひろさき 21 (第二次) 改訂版(案) について
黒石市	黒石市健康づくり推進協議会	所長	R1.7.1 ~ R3.6.30	R1.9.9	瀬川主査	① 健康くろいし 21 計画の中間報告 ② H30 年度事業実績について ③ R1 年度事業計画について ④ 母子保健計画について
				R1.12.25	山中所長 瀬川主査	① 母子保健計画について ② その他
平川市	平川市健康づくり推進協議会	所長	R1.10.1 ~ R3.9.30	R1.10.10	山中所長 瀬川主査	① 「第2次健康ひらかわ 21」 H30 年度実績について ② H30 年度健康づくり事業実績
				R2.3.25	澤田技師	① 平川市自殺対策計画の進捗状況について ② 第2期保健事業計画・第3期特定健診等実施計画の進捗状況について
西目屋村	西目屋村健康づくり推進協議会	—	—	—	—	※実施なし
藤崎町	藤崎町健康づくり推進協議会	所長	H30.8.1 ～R2.7.31	R1.8.27	富岡技師	① 健康ふじさき 21 (第2次) 進捗状況について ② その他
大鰐町	大鰐町健康づくり推進協議会	所長	H30.10.1 ～R2.9.30	R1.6.17	山中所長 三上専門員 山谷技師	① H30 年度事業実績 ② R1 年度事業計画 ③ 健康増進法の一部を改正する法律
				R2.2.18	山中所長 山谷技師	① R1 年度保健事業実績報告 ② 大鰐町自殺対策計画の進捗状況
田舎館村	田舎館村健康づくり推進協議会	所長	H29.4.1 ～H31.3.31			※R1 年度実施なし。 R2 年度初めに実施予定。
板柳町	板柳町健康づくり推進協議会	所長	R1.5.1～ R3.4.30	R1.5.8	山中所長 須藤技師	① 委嘱状交付 ② 板柳町の健康づくりについて
				R2.3.27	須藤技師	① 「板柳町のちを支える自殺対策計画」 進捗状況 ② 「第2期保健事業実施計画」 の進捗状況 ③ 板柳町保健計画「健康いたやなぎ 21 (第2次)」 の進捗状況 ④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

## 2 母子保健事業

### (1) 妊産婦支援体制整備事業

虐待の発生予防として、育児の孤立化、育児不安の軽減に努め、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備することを目的とする。

#### ア 産後うつ病の予防対策推進事業

市町村及び医療機関に対し、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）の普及を図り、併せて医師、児童相談所、市町村の児童福祉・母子保健関係者等関係機関との検討会を開催し、産後の抑うつ状態の早期発見を推進することを目的とする。

#### (ア) EPDSの市町村・医療機関への普及推進会議（母子保健ネットワーク会議と併催）

令和元年度版として更新した「ハイリスク妊産婦、未熟児等の連絡窓口担当者名簿」を市町村及び医療機関へ配付し、産後うつ病の予防や早期発見のための活用について、働きかけた。

#### (イ) ケース検討会議（要保護児童対策地域協議会）

板柳町 1件

#### イ 母子保健ネットワーク会議

安全な妊娠、出産、子育てができる地域づくりのために、医療と保健で連携した支援を行う必要があることから、母子保健に係る市町村、医療機関の関係者が課題を共有し、検討する機会とする。

※新型コロナウイルスの影響により中止

### (2) 女性健康支援事業

#### ア 女性健康相談事業

女性はその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談できる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。

- ・相談件数：随時来所相談1件
- ・相談内容：婦人科疾患、更年期障害に関する相談

#### イ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額でありその経済的負担が重いことから、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図る。

- ・治療費助成承認件数：222件

### (3) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性特定疾病児童等に対して、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

#### ア 小児慢性特定疾病医療受給者証交付と指導指示の状況 (人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有の件数
01	悪性新生物	26	0
02	慢性腎疾患	17	0
03	慢性呼吸器疾患	13	0
04	慢性心疾患	56	0
05	内分泌疾患	51	0
06	膠原病	12	0
07	糖尿病	19	0
08	先天性代謝異常	6	0
09	血液疾患	10	0
10	免疫疾患	1	0
11	神経・筋疾患	16	0
12	慢性消化器疾患	26	0
13	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	6	0
14	皮膚疾患	2	0
15	骨系統疾患	5	0
16	脈管系疾患	1	0
合計		267	0

(令和元年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数及び療育指導件数)

#### イ 療育指導

(ア) 所内相談 ①新規交付時面接相談：31件 ②随時相談：0件 ③電話相談：0件

(イ) 訪問指導 0件

(4) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾病医療受給者証を交付している。

(人)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
弘前市	11	9	10	40	32	6	9	5	7	0	10	15	2	2	4	0	162
黒石市	3	1	2	4	7	0	5	1	2	0	2	4	2	0	0	0	33
平川市	5	3	0	6	6	3	3	0	0	1	3	2	2	0	1	0	35
西目屋村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
藤崎町	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	8
大鰐町	4	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	9
田舎館村	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
板柳町	1	2	1	3	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13
合計	26	17	13	56	51	12	19	6	10	1	16	26	6	2	5	1	267

(令和元年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数)

(5) 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

疾患群 元年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
件数	6	2	0	5	6	4	1	0	1	0	2	5	0	0	0	0	32

(令和元年度弘前保健所小児慢性特定疾病医療受給者証交付件数)

## (6) 先天性代謝異常等検査

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性甲状腺機能低下及び先天性副腎過形成症は、放置すると知的障害等の心身障害をきたすため、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害の発現を防止することを目的に実施している。

令和元年度要精検者のうち、保健所から保護者への受診勧奨が必要なケースはなく、年度内に報告を受理した要精検者については、1ヶ月以内に精密検査を受診していた。

(弘前市：3件、黒石市：1件、平川市：1件、板柳町1件／全6件)

## (7) 妊婦連絡票等実施状況

安全な妊娠、出産環境を構築し、子どもの健全な育成に資するため、医療と保健の連携体制の一層の充実強化を図ることにより、妊娠初期から産褥期まで、妊産婦及びその家族に対し一貫した支援を行うことを目的として、妊産婦情報共有システムが構築されている。

市町村別	妊娠届出数 (A)	妊婦連絡票提出数 (B) (B÷A)	妊婦保健指導報告書 発行数 (C) (C÷B)	指導方法 合計	窓口 指導	訪問 指導	電話 指導	その他	要連絡・指導妊産婦 連絡票受理数 (D)	妊産婦保健指導結果 連絡票発行数 (E) (E÷D)	妊婦連絡票の提出はないが、 保健指導した数 (F) (F÷A)
弘前市	1,030	1,020 99.0%	1,019 99.9%	1,019	1,018	0	0	1	92	96 104.3%	12 1.2%
黒石市	180	180 100.0%	180 100.0%	180	179	0	0	1	24	22 91.7%	0 0.0%
平川市	161	160 99.4%	160 100.0%	160	159	1	0	0	12	13 108.3%	19 11.8%
西目屋村	7	7 100.0%	7 100.0%	7	7	0	0	0	1	0 0.0%	0 0.0%
藤崎町	92	92 100.0%	92 100.0%	92	86	0	6	0	11	8 72.7%	0 0.0%
大鱈町	29	29 100.0%	29 100.0%	29	24	0	5	0	2	2 100.0%	0 0.0%
田舎館村	51	51 100.0%	51 100.0%	51	45	0	6	0	2	2 100.0%	0 0.0%
板柳町	67	66 98.5%	66 100.0%	66	65	0	1	0	2	4 200.0%	1 1.5%
計	1,617	1,605 99.3%	1,604 99.9%	1,604	1,583	1	18	2	146	147 100.7%	32 2.0%

(令和元年度妊産婦情報共有システム実施状況報告より)



## (8) 未熟児等訪問指導状況

未熟児は、その未熟児性から疾病にもかかりやすく、心身の障害を残すことがあり、未熟児を養育する保護者の不安等も強いことから、未熟児等訪問指導を通じて養育支援を適切に進めるために関係機関との情報共有、連携体制の構築を図る。

市町村名	低出生体重児数	(再掲)未熟児養育医療申請数	未熟児等出生連絡票受理数	在胎週数別出生時体重															未熟児等訪問指導連絡票発行数
				～34週未満					妊娠34～37週未満					妊娠37週以上					
				1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	1000g未満	1000～1500g未満	1500～2000g未満	2000～2500g未満	2500g以上	
弘前市	93	26	52	1	5	5	1	0	0	1	5	10	7	0	0	1	13	3	56
黒石市	19	5	17	1	1	2	0	1	0	0	1	4	1	0	0	1	4	1	17
平川市	14	3	7	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	8
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤崎町	8	2	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
大鰐町	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
田舎館村	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
板柳町	4	4	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
計	146	41	86	4	7	8	1	1	0	2	8	18	9	0	0	3	19	6	90

(令和元年度未熟児情報システム実施状況報告より)

## (9) 令和元年度1歳6か月児健康診査実施状況

### ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,068	1,024	95.9
黒石市	182	177	97.3
平川市	164	162	98.8
西目屋村	13	13	100.0
藤崎町	102	100	98.0
大鰐町	45	44	97.8
田舎館村	52	49	94.2
板柳町	67	65	97.0
管内計	1,693	1,634	96.5

\*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、田舎館村である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	1,068	1,024	16	0.02
黒石市	182	177	0	0.00
平川市	164	162	0	0.00
西目屋村	13	13	0	0.00
藤崎町	102	100	3	0.03
大鰐町	45	44	0	0.00
田舎館村	52	49	3	0.06
板柳町	67	65	7	0.11
管内計	1,693	1,634	29	0.02

\*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、藤崎町、田舎館村、板柳町である。

(10) 令和元年度3歳児健康診査実施状況

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,202	1,173	97.6
黒石市	187	184	98.3
平川市	220	217	98.6
西目屋村	15	15	100.0
藤崎町	87	86	98.9
大鰐町	47	43	91.5
田舎館村	58	58	100.0
板柳町	54	50	92.6
管内計	1,870	1,826	97.6

\*受診率が管内平均より低い市町村は、大鰐町、板柳町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	1,202	1,173	758	0.65
黒石市	187	184	119	0.65
平川市	220	217	148	0.68
西目屋村	15	15	0	0.00
藤崎町	87	86	56	0.65
大鰐町	47	43	23	0.53
田舎館村	58	58	50	0.86
板柳町	54	50	38	0.76
管内計	1,870	1,826	1,192	0.65

\*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、平川市、田舎館村、板柳町である。

### 3 健康増進事業

#### (1) 保健事業費国庫及び県負担金関係

平成31年度保健事業費国庫及び県負担金実施計画にかかるヒアリング聴取を行った。

○実施日程：平成31年4月23日～24日、5月7日～8日

○実施場所：弘前保健所

○出席者：管内8市町村担当者、保健所

#### (2) 各種検診等実施状況

##### ア 歯周疾患検診 (平成30年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	848	678	92	78
黒石市	175	60	94	21
平川市	176	68	94	14
西目屋村	4	1	2	1
藤崎町	64	12	35	17
大鰐町	30	7	22	1
田舎館村	38	19	13	6
板柳町	10	3	3	4
管内計	1,345	848	355	142

##### イ 骨粗鬆症検診 (平成30年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	588	40	145	403
黒石市	104	28	24	52
平川市	352	46	50	256
西目屋村	27	1	4	22
藤崎町	0	0	0	0
大鰐町	71	8	25	38
田舎館村	54	6	8	40
板柳町	119	11	55	53
管内計	1,315	140	311	864

ウ その他の健康増進事業 (平成30年度地域保健・健康増進事業報告より)

(ア) 健康教育

(人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	糖尿病	高脂血症	喫煙		
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数	開催回数	延参加者数
弘前市	0	0	0	0	146	6,669
黒石市	0	0	0	0	72	1,045
平川市	0	0	0	0	211	2,250
西目屋村	0	0	0	0	19	328
藤崎町	0	0	0	0	22	112
大鰐町	0	0	0	0	34	241
田舎館村	0	0	0	0	46	1,094
板柳町	0	0	0	0	18	548
管内計	0	0	0	0	568	12,287

(イ) 健康相談

(人)

市町村名	重点健康相談		総合健康相談	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
弘前市	84	589	7	213
黒石市	2	2	33	320
平川市	0	0	53	968
西目屋村	0	0	29	29
藤崎町	41	456	3	254
大鰐町	23	464	70	70
田舎館村	0	0	29	441
板柳町	39	1,451	38	73
管内計	189	2,962	262	2,368

(ウ) 訪問指導

(人)

市町村名	被訪問指導実人員	被訪問指導延人員
弘前市	88	100
黒石市	32	38
平川市	185	502
西目屋村	115	132
藤崎町	142	151
大鰐町	2	4
田舎館村	178	228
板柳町	97	104
管内計	839	1,259

## 4 歯科保健事業

### (1) 8020運動推進特別事業

乳幼児期からの口腔保健の重要性や生活習慣病との関係性について、保健指導にあたる市町村や児童福祉施設の栄養士・管理栄養士の関心を高める。また、地域住民の歯科保健における関心を高め、歯周病の予防と適切な歯科受診につなげる。

#### ア 健康講座

「行政管理栄養士に關係する口腔保健学—乳幼児、メタボ及びフレイル健診—」

(参加者：管内管理栄養士9人)

#### イ リーフレット作成と配布

管内市町村における特定健康診査受信者への保健指導時に、市町村担当者が活用できる普及啓発媒体を作成。リーフレットは15,000部作成し、管内市町村へ配布。

### (2) 親と子のよい歯のコンクール

子や保護者及び地域社会の歯科保健への関心を高めるため、健康な歯を持つ親と子を表彰し、地域の親子歯科保健の推進を図る。

○対象者：平成30年度の3歳児歯科健康診査を受診した、むし歯のない又は治療済である子とその親 397人

○開催月日：令和元年6月16日(日)

○参加者：親子55人

○コンクール結果：弘前市の親子が最優秀となった。

## 5 栄養改善指導事業

### (1) 給食施設栄養管理指導事業

特定給食施設等に対し、喫食者に適切な栄養管理が実施されるよう施設を巡回して必要な指導及び助言を行う。また、給食従事者に対し研修会を開催する。

#### ア 巡回指導

元年度	指定給食施設		特定給食施設		特定多数人に対して継続的に食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		総計
	有	無	有	無	有	無	
栄養士の配置の有無	有	無	有	無	有	無	
巡回指導対象施設数	3	0	66	10	98	25	202
巡回指導延施設数	1		23	6	35	12	77
指導率(%)	33.3		34.8	60.0	35.7	48.0	38.1
施設来所延指導数	0		0	1	1	0	2
電話による相談数	0		5	0	4	0	9

イ 研修会

開催日時	令和2年2月13日(木) 14:00~16:30
開催場所	弘前パークホテル
参加者数	保育所・認定こども園・幼稚園の給食担当者 102人
内容及び講師	<p>保育所給食において、安全かつ適正に栄養管理された食事を提供するため、保育所・認定こども園・幼稚園の調理従事者に対し、施設の衛生管理に関する留意点及び栄養管理に関する最新のガイドライン等を周知することを目的として、研修会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「給食施設の衛生管理・食品表示(アレルギー表示)について」 弘前保健所 生活衛生課 佐藤 泰誠 技師</li> <li>・情報提供「間食の栄養成分等の調査結果及び保育所の栄養管理に関連する最近の話題」 (項目：間食の栄養成分等の調査結果、食事摂取基準2020年版、授乳・離乳の支援ガイド、保育所におけるアレルギー対応ガイドライン) 弘前保健所 健康増進課 渡辺主査、竹ヶ原技師</li> </ul>

(2) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村健康増進計画等の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する管理栄養士等による連絡調整や情報交換、研修を行う。

ア 連絡調整会議

開催日時	令和元年5月29日(水) 13:30~16:30
対象者	管内市町村行政栄養士
参加者数	11人
参加者内訳	市町村行政栄養士7市町村9人、保健所職員2人
内容	<p>&lt; 会議及び情報交換 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①各市町村健康増進計画の「栄養・食生活」の目標及び中間評価の状況について</li> <li>②令和元年度の新規・重点事業について</li> <li>③情報交換</li> <li>④今年度の行政栄養士研修会の内容について</li> </ul>

イ 研修会

第1回	
開催日時	令和元年10月4日(金) 13:30~16:00
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	13人
参加者内訳	市町村行政栄養士7市町村 10人、保健所職員 3人
内容	<p>&lt;講義&gt; 「個別栄養指導における留意点、疾患別の留意点等について」 講師：管理栄養士 石田 直子氏</p> <p>&lt;事例検討&gt; 「個別栄養指導の事例検討(2事例)」</p>

第2回	
開催日時	令和2年1月31日(金) 13:30~16:00
対象者	市町村健康づくり業務担当者
参加者数	12人
参加者内訳	市町村行政栄養士6市町村 9人、保健所職員 3人
内容	<p>&lt;講義&gt; 「行政栄養士に係る口腔保健学 ~乳幼児、メタボ及びフレイル健診~」 講師：弘前保健所 乾 明成 歯科医師</p> <p>&lt;情報交換&gt; 「健康まつりにおける栄養・食事に関する普及・啓発の工夫等について」</p>

ウ その他市町村事業に対する支援

市町村名	具体的な内容
弘前市	<p>弘前市食生活改善推進員養成講座講師(1回)</p> <p>生活衛生課 桜庭課長</p> <p style="text-align: right;">参加者 9人</p>

### (3) 食生活改善推進員の育成

#### ア 弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会

管内市町村食生活改善推進員の活動について、連絡調整や情報交換、研修を行い、地域における食生活改善活動の効果的な実施を推進する。

#### イ 管内市町村食生活改善推進員会会員数

市町村名	会員数（人）	
	令和元年6月1日現在	平成30年6月1日現在
弘前市	169	173
黒石市	149	156
平川市	135	135
西目屋村	12	12
藤崎町	37	37
大鱈町	58	60
田舎館村	35	35
板柳町	31	32
合計	626	640

#### ウ 管内市町村食生活改善推進員養成講座実施状況

弘前市

### (4) 青森のおいしい健康応援店認定事業

平成12年から実施してきた外食栄養成分表示店定着促進事業を廃止し、平成27年2月から県内（青森市除く）で新規事業として実施している。本事業は、「肥満予防」、「食塩摂取量の減少」、「野菜摂取量の増加」に配慮した食事メニューの提供を行う飲食店、惣菜店から申請があった場合に「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を推進する。

認定店舗数 23件

### (5) 健康増進法及び食品表示法に基づく表示の指導及び相談

栄養成分表示や特別用途表示、誇大表示の禁止等、健康増進法及び食品表示法に基づき、事業者による食品または広告等の表示に対し相談・指導を行う。

指導及び相談件数 延べ 201件



## (6) 国民健康・栄養調査

### ア 目的

健康増進法（平成14年法律103号）に基づき実施するものであり、国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るために基礎資料を得るために実施する。

### イ 調査地区、内容等

- ・調査地区：弘前市百沢字三本柳地区
- ・調査世帯数及び被調査者数：17世帯、43名（満1歳以上）
- ・調査内容及び実施状況：①食物摂取状況調査／16世帯、②血液検査／9人  
③歩数計調査／39人、④生活習慣調査／46人

## 6 精神保健福祉関係

### (1) 通報状況

(人)

区 分	申請 通報	調査により診察 の必要がないと 認めた者		診 察 を 受 け た 者		
		入院	その他	精 神 障 害 者		精神障害者で なかった者
				法第 29 条該当 症状の者	法第 29 条該当 症状でなかった 者	
一 般 の 申 請	1	0	0	1	0	0
警 察 官 の 通 報	24	0	0	18	5	1
検 察 官 の 通 報	13	0	12	1	0	0
保 護 観 察 所 長 の 通 報	0	0	0	0	0	0
矯 正 施 設 の 長 の 通 報	2	0	2	0	0	0
病 院 の 管 理 者 の 届 出	0	0	0	0	0	0
医 療 観 察 法 の 対 象 者	0	0	0	0	0	0
合 計 (令 和 元 年 度)	40	0	14	20	5	1

※管外1人を含む

### (2) 医療状況

#### ア 入院・通院状況

(人)

市町村別	入 院		通 院	計
	措 置	医療保護		
弘 前 市	13	1,122	3,107	4,242
黒 石 市	2	329	529	860
平 川 市	0	214	486	700
西 目 屋 村	0	9	18	27
藤 崎 町	2	95	208	305
大 鱈 町	0	93	131	224
田 舎 館 村	0	42	97	139
板 柳 町	2	87	209	298
管 外	1	-	-	1
合 計 (令 和 元 年 度)	20	1,991	4,785	6,796

イ 通院医療状況

疾病別患者数では、統合失調症（F2）が全体の34.0%を占め圧倒的に多い。（人）

市町村別	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F2 統合失調症、統合失調症関連障害及び妄想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格及び行動の障害	F7 精神発達遅滞	F8 心理発達障害	F9 小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘 前 市	103	95	1,056	907	184	9	32	59	204	84	267	107	3,107
黒 石 市	46	14	171	129	45	1	3	13	27	18	43	19	529
平 川 市	33	11	163	114	25	2	1	16	36	12	45	28	486
西目屋村	3	1	7	1	2	0	0	1	1	0	1	1	18
藤 崎 町	23	5	71	46	14	0	2	4	13	4	16	10	208
大 鱈 町	11	3	52	33	5	0	0	7	4	1	10	5	131
田舎館村	4	1	30	23	8	2	0	2	9	3	7	8	97
板 柳 町	13	5	79	47	10	0	3	1	11	3	19	18	209
合 計	236	135	1,629	1,300	293	14	41	103	305	125	408	196	4,785

令和2年3月31日現在

(3) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1級27.1%、2級59.6%、3級13.3%となっている。（人）

市町村別	1 級	2 級	3 級	計
弘 前 市	546	1,269	281	2,096
黒 石 市	80	205	47	332
平 川 市	100	186	44	330
西目屋村	5	5	1	11
藤 崎 町	44	80	17	141
大 鱈 町	26	51	11	88
田舎館村	24	35	8	67
板 柳 町	36	64	15	115
合 計	861	1,895	424	3,180

令和2年3月31日現在

(4) 精神保健福祉相談（定期・随時・電話）

相談内容は、受診及び入院に関する相談が多かった。

ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第2木曜日、第3火曜日 奇数月 第2木曜日 ※受付 13:00～14:00	随 時
従 事 者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 ・藤代健生病院 名誉院長 坂本 隆 ・聖康会病院 院長 齋藤 文男 保健師	保 健 師

イ 相談内容

(人)

令和元年度	相談件数	主な相談内容															平成30年度
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連	その他	
合計	747	131	14	38	2	61	21	8	0	23	0	2	6	13	19	409	688
定期	38 (28)	9	1	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	2	0	14	38 (32)
随時	69 (50)	28	2	0	1	8	2	0	0	0	0	1	0	2	0	25	66 (47)
電話	640	94	11	38	1	53	7	8	0	23	0	1	6	9	19	370	594

\* ( ) 内の数値は実数

ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

令和元年度 相談件数	本人	家族等				
		配偶者	父・母	同胞	子	その他
107	24	8	49	12	3	30

エ 定期・随時相談の相談経路 (件数)

令和元年度 相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
107	49	20	14	3	2	19

(5) 家庭訪問

家族の依頼や関係機関等の連絡による受診勧奨の支援が多かった。

令和元年度 訪問件数 (件)	対象者別訪問状況							支援内容 ※延件数						平成30年度 訪問件数
	総計	一般	老人精神	アルコール	ひきこもり	自殺関連	その他	受診・入院に 向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	家族関係調整	社会復帰	その他	
延数	116 (33)	43	1	3		2	67	30	12	35	2	0	37	117 (56)

\* ( ) 内の数値は実数

(6) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

精神障害者本人及び家族が、住み慣れた地域で自分らしい生活を実現できる地域を目指し、保健・医療・福祉等の支援関係者が連携し、長期入院者の地域移行を進めるための支援体制を構築する。

ア 精神障がい者の地域移行支援検討チーム会議（5回）

開催年月日	令和元年5月21日(火)、7月23日(火)、9月25日(水)、11月19日(火)、令和2年2月25日(火)
場 所	青森県産業技術センター弘前工業研究所
出 席 者	精神科病院5カ所、一般相談支援事業所12カ所、管内8市町村障害福祉所管課等、弘前保健所
内 容	管内の精神障がい者の地域移行支援の推進に向けた取り組みについての協議、等

イ 精神障がい害者の地域移行に関する研修会（地域生活支援広域調整会議）

開催年月日	出席者	内 容
令和元年 12月12日 (木)	管内精神科病院、 相談支援事業所、 市町村（障害・保 健・介護・生活福 祉）、包括支援セン ター、他保健所等 計60人	<p>1 情報提供</p> <p>① 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する 国及び県の取組」青森県障害福祉課</p> <p>② 「長期入院患者の現状と当圏域の取り組みについて」 弘前保健所 健康増進課</p> <p>2 講演「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築と 地域移行支援の具体的展開」 講師 東京都サポートセンターきぬた 地域移行コーディネーター 金川洋輔</p> <p>3 ピアサポーターの語り 「ピアサポーターとして活動する私たちの語り」 語り手 弘前ピアサポーター「だんだん」の会</p> <p>4 ビデオ上映 「前略 退院しました ～精神障がいをもちながら 自分らしい生活を取り戻した私たち～」</p> <p>5 グループワーク 「地域移行をみんなで進めるための自分たちの役割」</p>

ウ 精神障がい者ピアサポーター活動

(ア) 精神障がい者ピアサポーター養成講座

開催年月日	出席者	内 容
令和元年 11月23日 (土)	当事者13人 支援者12人 計25人	① 講義「ピアサポートとは」他 ② グループワーク等 ファシリテーター 密着アドバイザー 川村和康 講師 地域生活支援センターびあす所長 三浦暢子 相談支援センターなごみ相談支援専門員 川村 志穂

(イ) 精神障がい者ピアサポーターミーティング

回 数	出席者	内 容
奇数月第2 (金) 17:30～19:00 計7回 (3月予定の1回中止)	ピアサポーター養成講座 受講者や支援者等 延45人	ピアサポーター活動についての話し合い 等

(7) 自殺対策事業

ア 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

各地域の特性に応じた包括的な自殺対策の推進に向け、関係機関のネットワークを強化することで、社会全体の自殺リスクを低下させることを目的に実施している。

※新型コロナウイルスの影響により中止

イ 自殺及び自殺未遂者調査

消防署の協力を得て、自殺及び自殺企図者の実態を把握し、自殺対策に役立てることを目的に実施している。

ウ 個別支援

- ・対応ケース：訪問3件（実数1人）、電話18件（実数8人）
- ・事例検討会：実施なし

エ 管内市町村自殺対策計画策定に対する支援等

管内市町村名	参加回数	会議名称
弘前市	1回	弘前市自殺対策連携会議
	1回	弘前市健康づくり推進審議会
黒石市	2回	黒石市健康づくり推進協議会
平川市	2回	平川市健康づくり推進協議会
西目屋村	0回	
藤崎町	1回	藤崎町自殺予防対策実務者会議
	2回	藤崎町健康づくり推進協議会
	1回	藤崎町自殺対策ネットワーク会議研修会
大鰐町	1回	大鰐町健康づくり推進協議会
田舎館村	0回	
板柳町	0回	

(8) 連携組織に対する支援

精神障害者家族会等

家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会に対し、自主的な会運営の推進のために、随時相談等に対応した。

(9) ケース処遇に関する会議

ア 精神障害者地域ケア会議

精神障害者及びその家族に対し、その状態に応じた適切な支援をするために医療機関・福祉事務所等その他関係機関と処遇について検討や協議を行った。

- ・開催回数：29回（10ケース）

イ 心神喪失者等医療観察法に係るケア会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行う。

- ・開催回数：3回（1ケース）

(10) 精神科病院に対する実地指導について

障害福祉課と同行し、精神科病院実地指導は5医療機関に対して、利用者の処遇等について指導を行った。

### (1 1) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果12.1%が入院医療を必要としている。

病 院 名	令和元年度	内 訳			平成30年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	434	359	39	36	281
藤代健生病院	132	0	99	33	145
聖康会病院	7	5	2	0	0
黒石あけぼの病院	15	11	2	2	19
合 計	588	375	142	71	445

### (1 2) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

開催年月日	出席者	内 容
令和2年 2月20日 (木)	委員 6人 医療機関 3人 警察署 2人 消防本部 1人 (上記のうち代理出席1人)	議題 (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる現状と課題 について

## 7 難病関係

### (1) 指定難病の医療費助成制度

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾病を特定疾患と定義し、そのうち56疾病を公費負担の対象としていた。

平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)が施行され、医療費助成の対象となる指定難病はこれまでの56疾病から110疾病へとなり、平成27年7月からは306疾病、平成29年4月からは330疾病、平成30年4月からは331疾病、令和元年7月からは333疾病となっている。



令和元年度弘前保健所指定難病受給者証交付件数

疾患名	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	合計
IgA 腎症	13		1		1				15
IgG4 関連疾患	4		1	1	1				7
α1-アンチトリプシン欠乏症	1								1
アイカルディ症候群	1								1
ウイルソン病	1								1
エーラス・ダンロス症候群		1							1
オスラー病	2	1							3
クッシング病	1	1				1			3
クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	1	1							2
クローン病	62	12	8		6	6	5	3	102
サルコイドーシス	32	10	5		2	3			52
シェーグレン症候群	10	3	2			1		2	18
シャルコー・マリー・トゥース病	2								2
パーキンソン病	210	39	42	2	19	15	11	17	355
パージャー病	3	1							4
パッド・キアリ症候群	1								1
ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1								1
ファロー四徴症							1		1
ブラダー・ウィリ症候群	1								1
プリオン病	2	2							4
ペーチェット病	41	9	5	1	2	4	5	2	69
マルファン症候群						2			2
ミトコンドリア病	1								1
もやもや病	8	1	2		1		1		13
ライソゾーム病	2				1				3
リンパ管腫瘍			1						1
悪性関節リウマチ	10	1	1			2		2	16
遺伝性ジストニア	1	1							2
一次性ネフローゼ症候群	17	3	4		1	3	1	1	30
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1							2
遠位型ミオパチー	1		1						2
黄色靭帯骨化症	5		2		1	1			9
下垂体性ADH分泌異常症	5						1		6
下垂体性PRL分泌亢進症	3	1							4
下垂体性TSH分泌亢進症	1								1
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	10				1	1		3	15
下垂体前葉機能低下症	33	6	6		1	4	1		51
家族性地中海熱	2				1				3
完全大血管転位症	1								1
球脊髄性筋萎縮症	7								7
強直性脊椎炎	6	1	1						8
筋ジストロフィー	11	6				2	4		23
筋萎縮性側索硬化症	23	4	3			1	2		33
結節性多発動脈炎	1	2				1			4
顕微鏡的多発血管炎	8		1			1	1	1	12
原発性抗リン脂質抗体症候群		1				1			2
原発性硬化性胆管炎	3								3
原発性胆汁性胆管炎 (原発性胆汁性肝硬変)	18	3	2	1		2		1	27
原発性免疫不全症候群	1		1						2
後縦靭帯骨化症	99	14	14	2	8	4	2	9	152
後天性赤芽球病	1	1							2
好酸球性消化管疾患	1								1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	1				1			8
好酸球性副鼻腔炎	19	1	5		2		1	3	31
広範脊柱管狭窄症	2	2				1		1	6
抗糸球体基底膜腎炎	1								1
高安動脈炎	7	3	1		1				12
混合性結合組織病	13	5	5		2			2	27
再生不良性貧血	14	6	2	1	1	1		1	26
再発性多発軟骨炎		1							1
葉斑病性腎炎	3								3
自己免疫性肝炎	4					1			5
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1								1
自己免疫性溶血性貧血						1			1
若年性特発性関節炎	3								3
若年発症型両側性感音難聴	1								1
修正大血管転位症								1	1
重症筋無力症	24	3	5		3	1	5		41
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1								1
色素性乾皮症								1	1
神経細胞移動異常症					1				1
神経線維腫症	2	1		1					4
進行性核上性麻痺	10	1	2		1	2	1		17
進行性骨化性線維異形成症	1								1
成人スチル病	8	3	1		1		2		15
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	50	12	5		3	1	3	5	79
先天性副腎皮質酵素欠損症	1								1
前頭側頭葉変性症		1			1				2
全身性アミロイドーシス	2	1			1				4
全身性エリテマトーデス	105	21	18		5	4	4	6	163
全身性強皮症	42	9	11	1	2	2	2	5	74
多系統萎縮症	15	2	2		1	3		1	24
多発血管炎性肉芽腫症	1							1	2
多発性硬化症/視神経脊髄炎	39	6	8		6	2	3		64
多発性囊胞腎	13	2				1	1		17
大脳皮質基底核変性症	7							1	8
大理石骨病						1			1
単心室症	1	1						1	3
潰瘍性大腸炎	156	27	28	1	10	3	8	16	249
天疱瘡	3	2	2		1			1	9
特発性拡張型心筋症	11	2	3		4	1		2	23
特発性間質性肺炎	20	2	4		2	1	1	1	31
特発性血小板減少性紫斑病	24	2	2		1	1		2	32
特発性多中心性キャッスルマン病	1		1		2				4
特発性大腿骨頭壊死症	14	5	4		1		1	3	28
脳表へモジデリン沈着症		1	1						2
膿疱性乾癬(汎発型)	3	1	1				2		7
肺動脈性肺高血圧症		1			1				2
肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1								1
皮膚筋炎/多発性筋炎	33	6	8		3	2	1	3	56
肥大型心筋症	3	1	1						5
非特異性多発性小腸潰瘍症	1								1
表皮水疱症	1								1
封入体筋炎	1	1							2
副甲状腺機能低下症	1								1
副腎白質ジストロフィー	1								1
慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー	12	4					1		17
慢性血拴塞性肺高血圧症	5	1	2			1			9
網膜色素変性症	21	3	3	1		1	1	2	32
両大血管右室起始症			1						1
顎天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2	1		1	1				5
<b>合計</b>	<b>1,378</b>	<b>268</b>	<b>229</b>	<b>13</b>	<b>103</b>	<b>87</b>	<b>67</b>	<b>105</b>	<b>2,250</b>

## (2) 難病患者等相談事業

### ア 医療相談

難病患者やその家族が抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等や、当事者同士の交流を通じたピアサポートにより、生活の質（QOL）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークの構築を図る。

#### ○医療相談2回実施

回	第1回 ※「難病フォーラム in 弘前」(青森県難病相談支援センター主催事業) と併催	第2回
日時	令和元年9月21日(土) 13:00～16:00	令和元年11月12日(火) 14:00～16:00
場所	弘前市総合学習センター	弘前市民会館
対象者	県内の難病患者・家族、支援関係者等	65歳未満の多発性硬化症・視神経脊髄炎患者及びその家族
参加者	108人 (内訳) 来賓・講師：2人 患者・家族：78人 支援関係者(医療従事者・難病相談支援員等)：28人	15人 (内訳) 患者8人、家族7人 講師1人
従事者	保健所、医療従事者、患者団体等 計62人	保健所長、保健師4人、訪問相談員4人 計9人
内容	<p>&lt;第一部&gt;</p> <p>① 報告「弘前保健所の難病対策について」</p> <p>② 医療講演会「神経難病について」 講師：健生病院 副院長 安田 肇医師</p> <p>&lt;第二部&gt;</p> <p>分科会(ALS、パーキンソン病、脊髄小脳変性症／多系統萎縮症、潰瘍性大腸炎／クローン病、筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労性症候群、膠原病、網膜色素変性症、オストミー、県腎協、てんかん、フットケア)</p>	<p>① 講話 「多発性硬化症・視神経脊髄炎の病態及び治療法について」  講師：弘前大学医学部附属病院 脳神経内科 准教授 村上千恵子</p> <p>② 個別相談・交流会</p>

#### ○ケア会議3回実施

患者本人、家族、支援関係者によるケア会議を随時実施している。

## イ 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、生活の質（QOL）の向上を図ると共に、在宅療養の推進を図る。

### (ア) 訪問相談

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
保健所保健師（件）	60	67	71	71	53
訪問相談員（件）	118	104	83	51	62
計	178	171	154	122	115

### (イ) 打ち合わせ会

開催年月日	平成 31 年 4 月 23 日（火）	令和 2 年 3 月 6 日（金）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談員の証」交付</li> <li>・訪問相談計画</li> <li>・地区分担について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問相談実施状況</li> <li>・情報交換</li> <li>・R2 年度計画について</li> </ul>

## (3) 新規特定医療受給者証交付時相談及び継続申請時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定医療受給者証の交付時を利用した相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受給者証交付時相談（件）	80	88	100	86	80
継続申請時相談（件）	15	5	2	6	12
電話相談（件）	20	13	4	6	3
計	115	106	106	98	95

※平成 22 年度から継続申請時の相談を行ってきたが、平成 29 年度は希望により相談に応じる体制とした。

## (4) 難病在宅ケア推進ネットワーク会議

難病患者の在宅療養の特殊性を踏まえた包括的な支援体制の構築により、難病患者とその家族が安心して療養生活を継続できるように、支援関係者間の連携の促進を図る。

開催日時	場 所	出席者	内 容
令和 2 年 2 月 19 日（水） 14:30 ～16:00	弘前市民会館	弘前市医師会、健生病院、国立青森病院、弘前市立病院、弘前大学医学部附属病院、弘前医師会弘前地区在宅医療支援センター「そよかぜ」、県訪問看護ステーション連絡協議会中南黒支部、県介護支援専門員協会津軽支部会、青森県難病相談支援センター、難病連、県立中央病院、市町村（弘前市、黒石市、平川市、大鰐町）、弘前地区消防事務組合消防本部、弘前保健所 計 27 人	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業報告 「令和元年度弘前保健所の難病対策」</li> <li>2 意見交換 テーマ「ALS 等神経難病患者の支援及び緊急対応について～関係機関の対応の現状・課題～」</li> </ol>

## (5) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、治療や療養生活上の悩みを共有し、難病を抱えながら生活していくための仲間づくりや交流するための活動を支援する。

- ア 新規特定疾病医療受給者証交付時相談や随時相談、及び難病訪問相談員や所内保健師訪問時の情報提供
- イ 患者会活動について対象者への周知の協力。(パーキンソン病等)

## (6) 青森県重症難病患者在宅療養支援事業

- ・対 象：人工呼吸器を装着し、在宅療養している方
- ・内 容：①一時入院、②看護人派遣
- ・登録者：1人（実際の利用には至らず）

## 8 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

### (1) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

令和元年度においては、認定申請4件

## 9 保健師業務連絡会議

管内市町村・事業所等に勤務する保健師を対象として、保健活動に関する情報交換及び学習会を開催し、業務の円滑化を図る。

開催年月日	参加者	内 容
令和元年7月18日 (木)	市町村 9人 県がん・生活習慣病対策課 1人 保健所 8人 計18人	1 情報交換 「令和元年度 保健師活動の重点目標について」 2 講義 「青森県保健師活動指針（改訂版）の活用について」 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課 主幹 青木 範子 氏
令和2年2月14日 (金)	市町村10人 保健所 6人 計16人	1 情報交換 「令和元年度管内市町村の重点活動の実践及び評価について」 「保健師活動指針（改訂版）の活用状況について」 2 情報提供 「市町村喫煙対策自己点検調査について」

## 10 保健師の育成支援

### (1) 保健所保健師等育成支援事業（トレーナー保健師事業）

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、保健所の新採用保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者：所内新採用保健師1人

イ トレーナー保健師1人（在宅保健師 今 和子）

ウ 事業日数：17.0日

エ 内 容

種別	日数	件数		内訳
		実件数	延件数	
家庭訪問	13.0	17	21	精神1件（延3件）、難病8件（延9件）、母子3件（延4件）その他（がん検診事後指導）5件（延5件）
コーディネート（ケア会議）	0.0	0	0	
打合せ等評価会	4.0	/	/	事前打合せ会（6/6、13名）、中間評価会（10/28、12名）、最終評価会（2/3、13名）、活動打合せ（ケース検討、地域診断等）（2/13、3名）
計	17.0	17	21	

### (2) 青森県新任等保健師育成支援事業

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、市町村の新任保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 対象者 4人（弘前市保健師3名、黒石市保健師1人）

イ トレーナー保健師 3人（弘前市2人、黒石市1人）

ウ 事業日数 弘前市32日、黒石市20日（令和元年6月～令和2年1月）

エ 内 容

	打合せ	家庭訪問	その他
弘前市	事業打合せ1回 中間評価会1回 最終評価会1回	妊産婦、乳児、成人 （延べ47件）	健康教育
黒石市		成人（延べ20件）	健康相談、健康教育 健康診査、地域診断

### オ 事業打合せ、評価会

	事業打合せ	中間評価会	最終評価会	場所	出席者	内容
弘前市	R1.6.17	R1.10.8	R2.1.24	弘前市保健センター	トレーナー保健師、新任保健師、市保健師、県国民健康保険団体連合会、県がん・生活習慣病対策課、保健所	事業内容の確認、進捗状況評価、結果評価と次年度の課題等について意見交換
黒石市		R1.10.15		黒石市庁舎		

(3) 新任保健師研修 (弘前保健所主催)

新任保健師が、保健師の専門能力を発揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を習得するとともに、人材育成の体制づくりを推進する。

ア 対象者

(人)

	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	保健所	計
初任期	3	1	2		2	1		1	1	11
新任期	3	3	1		1		1	3	3	15
計	6	4	3	0	3	1	1	4	4	26

イ 内容

3回開催

(人)

開催年月日 会場	プログラム	初 任 期	新 任 期	指 導 保 健 師	計
令和元年 8月27日(火) 弘前市保健セ ンター	(1) 講義 ①市町村・保健所保健師として、行政の立場での役割 ②地域診断に基づいた事業のススメ 講師 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子 (2) 情報交換「採用5か月を振り返って」 (3) 演習(グループワーク)「地域診断の実際」 (4) 講義「児童相談所の機能と役割等」 講師 弘前児童相談所 主査 田中 哲司 ※上記(1)と(3)は市町村新採用管理栄養士研修会と合同	11		1	12
令和元年 12月9日(月) 青森県産業技 術センター弘 前工業研究所	(1) 事例検討(グループワーク) (2) 事例検討の発表とまとめ 助言者 弘前保健所 健康増進課長 山口久美子	9	8	1	18
令和2年 2月14日(金) 青森県産業技 術センター弘 前工業研究所	(1) 話題提供 「新任保健師(採用4年目)による地区活動・保健事 業について」 (2) 講義と助言 「地域診断に基づいた地区活動、保健事業の展開」 講師 弘前大学 大学院保健学研究科 看護学領域 教授 北宮 千秋氏 ※地域保健関係者研修と併催	8	6	3	17

## 1 1 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員等の活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

### (1) 実施状況

#### ア 研修会

(ア) 日 時：令和元年8月23日（金）

(イ) 場 所：青森県武道館

(ウ) 参加者：計69人（保健協力員53人、市町村担当者9人、事務局等7人）

(エ) 内 容

メインテーマ 「糖尿病について、正しく知ろう」

① 講演・実習 「糖尿病予防と運動 ～気楽に、気長に、体を動かそう～」

講師 青森県健康・体力づくり協会 健康運動指導士 奈良岡 匠 氏

② 話題提供 「保健協力員ハンドブック（第3版）の改正にあたってのポイント  
～活動に活かしてほしいこと～」

提供者 青森県国民健康保険団体連合会 保健活動推進専門員 梅庭 牧子 氏

③ 交流会（グループワーク） 「保健協力員活動 仲間で支え合いましょう！」

進行 弘前保健所 健康増進課長 山口 久美子

まとめ・助言 弘前保健所長 山中 朋子

#### イ 役員会

開催年月日	内 容	出 席 者
令和元年 6月13日（木）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業及び決算報告について</li> <li>・令和元年度事業計画及び予算（案）について</li> <li>・研修計画、活動報告、その他</li> </ul>	保健協力員 8人 市町村担当者 8人 事務局 3人 計19人
令和2年 1月27日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業及び決算報告について</li> <li>・令和2年度事業計画、研修計画について</li> <li>・保健協力員カレンダー標語の検討、その他</li> <li>・話題提供 「保健協力員活動の活性化に関する調査」の結果 と地区組織育成について</li> </ul> 提供者：青森県立保健大学健康科学部看護学科 准教授 千葉 敦子 氏	保健協力員 8人 市町村担当者 9人 事務局等 4人 計21人

## (2) 管内市町村保健協力員等の設置状況

(平成31年4月現在)

市町村名	名称	人数			任期／組織名	担当部局
		(人)	男	女		
弘前市	健康づくりパートナー	330	39	291	2年／健康づくりパートナー連絡協議会	健康増進推進課
黒石市	保健協力員	226	8	218	2年／保健協力員会	健康推進課
平川市	保健協力員	195	7	188	2年／保健協力員会	子育て健康課
西目屋村	保健協力員	21	0	21	2年／(組織なし)	住民課
藤崎町	健康推進員	126	4	122	2年／健康推進員会	福祉課
大鰐町	保健協力員	60	0	60	2年／保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	61	0	61	2年／保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	90	41	49	2年／(組織なし)	健康推進課
計		1,109	99	1,010		

## 1.2 医療技術者等の研修・実習

養成機関等の依頼により、看護学生等が、保健所の機能と役割を理解し、地域保健活動及び公衆衛生看護活動、または、公衆栄養活動の実際を学ぶことを目的として実施している。

大学名	研修期間	日数 (日)	人数 (人)
弘前学院大学看護学部 看護学科	令和元年6月4日(火)～6月7日(金)	4	4
弘前大学医学部 保健学科看護学専攻	令和元年6月24日(月)～6月27日(木)	4	6
弘前医療福祉大学保健学部 看護学科	令和元年10月7日(月)～10月10日(木)	4	5
青森県立保健大学健康科学部 栄養学科	令和元年6月17日(月)～6月21日(金)	5	3
東北女子大学家政学部健康 栄養学科	令和元年7月22日(月)～7月26日(金)	5	3
計 5校5学部		延22	延21

## 1.3 医療介護連携調整実証事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、市町村の在宅医療・介護連携推進事業の取組の支援として、当管内における入退院ルールを平成27年度より策定し運用している。同ルールの安定した運用体制を維持・促進するため、関係機関へモニタリング調査を実施し、運用状況の把握、地域課題の整理を行い、ルールの修正及び周知を行っている。



## (1) 実施状況

### ア 第1回市町村担当者等会議

(ア) 日 時：令和元年9月30日（月） 14：00～15：30

(イ) 場 所：青森県産業技術センター

(ウ) 出席者：市町村在宅医療・介護連携推進事業担当課、市町村地域包括支援センター、弘前地区消防事務組合、保健所等 計25人

(エ) 内 容：情報共有、意見交換

- ① 入退院調整ルールについて
- ② 「(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」について
- ③ 「(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援」について
- ④ 「(ア) 地域の医療・介護の資源の把握」について

### イ 病院・ケアマネ協議

令和2年3月11日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により意見交換会は中止した。関係機関へは書面にて津軽圏域入退院調整ルール修正案への意見を伺い、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、市町村等183ヵ所へ改訂版を周知した。